

公民館等職員専門研修②(兼)家庭教育支援チーム・リーダー養成講座④ 実施レポート

日時：平成30年11月30日(金) 10時30分～15時

会場：秋田県生涯学習センター 3階講堂・4階第1研修室 参加者：62名

「公民館等職員専門研修②」と、「家庭教育支援チーム・リーダー養成講座④」を合同で実施しました。「家庭教育支援の拠点づくり」をテーマに、社会教育施設の役割や、官民が連携した効果的な家庭教育支援について学び、話し合いました。

【事業説明・実践紹介】

午前の部では、はじめに生涯学習センターの職員から、平成30年度に開催した各研修のポイントや、受講者の地域での活動を説明しました。

実践紹介は、青森県の鱒ヶ沢町家庭教育支援チーム(鱒ヶ沢町子育てサポートセンター、通称「サポセン」) **サポーター代表の渋谷貴子さんと、サポーターの岩谷道代さん**からお話いただきました。

サポセンはPTAの有志で立ち上げた子育て支援グループを母体とし、国・県の事業受託をきっかけに平成16年度から活動を開始しています。 <バラエティ豊かな実践に驚き！>

当初から鱒ヶ沢町中央公民館を拠点としており、楽しく、地域ぐるみの子育てをモットーに、【子育ての相談】【学習会の開催】【情報発信】(情報誌「ほっとタイム」の発行)、【サークルやグループの支援】という4つの柱で活動を続けています。活動を行う中で、公民館や教育委員会等の行政機関をはじめ、町の様々な機関や団体と連携を深めており、サポセンのメンバーも町内の活動や会議に積極的に加わることで情報収集に役立っているそうです。中央公民館だけでなく町内の各公民館と事業を通じて連携し、サポセンは企画や実行、公民館は事務手続きなど、役割分担をしながら効果的に活動しているという話が印象に残りました。

郷土料理教室や巨大紙相撲大会など、鱒ヶ沢町ならではの特色を生かしたユニークな活動もあり、受講者のアンケートでは「自分たちの活動でも参考にしたい」という意見が多く見られました。

支援活動をスムーズに進めるためには、拠点である公民館の理解と協力がポイントであることを強調され、今後の課題としては、家庭教育支援の多岐にわたるニーズを適切に捉えることを挙げていました。

【分科会・協議】

午後は「家庭教育支援チーム部会」と「公民館部会」に分かれ、分科会方式で協議を進めました。

家庭教育支援チーム部会では、公民館を拠点にすることによる利点や今後の連携の可能性について、公民館部会では、支援チームの立ち上げ時のサポートをどうするかや、情報提供の手法などが話題になりました。

後半では両部会が合流してさらに話し合い、身近な施設(町内会館など)の活用や、支援チームと公民館の役割分担など、具体的な内容にも話が及びました。合同研修にしてじっくり話し合ったことで、お互いの考え方が分かって参考になったという意見や、課題が明確になったという意見があり、有意義な研修機会になりました。



<バラエティ豊かな実践に驚き！>



<家庭教育支援チーム部会>



<公民館部会>

【参加者の声】(抜粋)

- ・勉強になりました。次年度の企画に生かしていきたいと思います。
- ・鱒ヶ沢町の事例はとても多彩で、参考になるものばかりでした。
- ・同じグループの皆さんから、思いもしなかった面白い意見や経験を聞いて、大変参考になりました。
- ・拠点づくりの話からどんどん話題が広がり、活動の参考になるヒントをたくさんいただきました。
- ・公民館職員の働きが重要であり、大きな期待がかけられていることが分かりました。
- ・家庭教育支援は手段であって、目的は持続可能な地域づくりだと分かったことが本日の収穫でした。